

令和4年度 指定管理施設検証結果報告書

PLAN	施設名	甲州市大和デイサービスセンター			検証日	令和5年7月3日	
	所管課担当名	子育て・福祉推進課 福祉推進担当		課長名	志村 裕喜	作成者名	雨宮 明日香
	指定管理者	名称	株式会社 やさしい手甲府				
		代表者	代表取締役社長 根津 宏次				
		所在地	山梨県甲府市上石田1丁目7番地14号				
	管理施設の概要	指定期間	平成31年(2019年)4月 ~ 令和6年(2024年)3月				
		施設所在地	山梨県甲州市大和町田野77番地				
		設置目的	老人福祉法(昭和38年法律第133号)第15条第2項の規定によりデイサービスセンターを設置する。				
	事業概要	利用者	甲州市内および市外の利用者	施設管理体制	13名	開館日時間等	8:30 ~ 17:30 (延長サービスは18:30まで) (日曜・元日・臨時休館を除く)
		サービス提供の内容	指定管理業務 (1)大和地域を中心としたデイサービス事業の運営 (2)デイサービスセンターの利用申請の受付及び利用許可等に関すること (3)デイサービスセンター使用料徴収事務に関すること (4)施設利用にあたってのサービス、指導等に関すること (5)その他日常業務 (6)施設の維持、管理及び修繕(大規模な修繕は除く) (7)備品等の維持、管理及び修理 (8)その他施設の管理に関すること 自主事業 (1)介護保険外延長自費サービス				
DO	管理運営コスト推移(千円)	令和元年度(指定期間1年目)	令和2年度(指定期間2年目)	令和3年度(指定期間3年目)	令和4年度(指定期間4年目)	令和5年度(指定期間5年目)	
	予算	指定管理料	0	0	0	0	
		利用料金収入	78,000	77,700	72,000	71,000	
		その他収入	6	8	8	8	
	決算	管理運営経費	72,998	74,819	72,008	71,008	
		指定管理料	0	0	0	0	
		利用料金収入	71,413	67,711	70,386	72,243	
		その他収入	18	701	2	907	
	施設	管理運営経費	74,064	66,340	65,783	65,711	
		収支	-2,633	2,072	4,604	7,439	
指標	施設の稼働状況	令和元年度(指定期間1年目)	令和2年度(指定期間2年目)	令和3年度(指定期間3年目)	令和4年度(指定期間4年目)	令和5年度(指定期間5年目)	
	開館日数(日)	312	313	305	313		
	利用者数(人)	7,128	6,846	7,119	7,278		
活動結果	・地域住民サービス及び地域介護の拠点として市民への広報等を通じた周知活動と介護保険サービスが必要な方への適切な受け入れを実施した。 ・年2回の6S活動(整理・整頓・清掃・しつけ・作法)期間を設定し、担当者が立案した改善策へ取り組み、働きやすい環境づくりと経費削減に向けた行動を実施した。 ・利用者人数の増加や質の高い介護サービスの提供に繋げることを目的とし、各種研修に参加した。また、交通事故防止を促進するため、安全運転講習へ参加した。						
CHECK	評価観点	評価(5 4 3 2 1) 高 → 低	評価の説明				
	(1)事業の運営	3	協定書のとおり適切に管理運営が行なわれている。主に大和地域内の介護拠点としての役割を果たしている。また、年間を通じた季節ごとの行事の提供や日々機能維持につながるレクリエーションの提供を行った。令和4年度は交通事故1件、職員の見守り不足による利用者の転倒を2件起こしてしまった。今後適宜対応法を見直し事故防止に努める。甲州市の住民の雇用を優先的に実施するため、地域の人的資源の活用を基とし、地元住民の雇用を促進した。(全職員13名中、甲州市民11名)				
	(2)施設の維持管理	3	施設設備については、定期的に保守点検を大和福祉センターと共同で実施し機能保持に努めている。屋根の腐敗防止、樋詰まり防止のため、月に1回屋根の枯葉清掃を行うなど、目に見えずらい部分もこまめな管理に努めている。日々、館内清掃や消毒を実施し、施設の衛生面を保つよう努めている。また、不具合箇所については、早急に修繕を行うなど、施設の維持に努めている。				
	(3)収入支出	4	前年より収入増の要因は、利用回数の少ない利用者への回数増の提案による利用回数の増加により、1人の利用回数が増えたことによる。また、新型コロナウイルス感染防止のための消耗品費の減少及び、職員1名の退職に伴う人件費が減少したことによる。令和4年度も、保存書類のデータ化による用紙代の削減と社内情報共有システム導入による情報伝達の効率化、チェック機能の強化による業務時間短縮を促進した。また事故予防研修への積極的な参加により、職員のスキルアップを目指し、事故による不要な経費削減にも取り組んだ。経理についても基本協定書、仕様書、条例に基づき適正におこなっている。				
	(4)総合評価	総合評価の説明(施設所管課による一次評価)					
優良 良好 妥当 要改善 不適	良好						
ACTION	評価結果に対する施設所管課の対応						
	当面の課題	・安定した利用顧客の維持を図る。 ・デイサービスセンターの床暖房が大和福祉センターのボイラーとつながっており、温泉機器の制御盤の老朽化が進み現状のボイラーが使用できなくなるおそれがあるため、引き続き床暖房を利用するための改修が必要となる。					
	課題解決への対応	・引き続き、新規利用者の固定化を目指し、サービスの向上を行っていく。また、市内や峡東地域・郡内地域の病院・施設へチラシの配布や、ケアマネージャーに個別機能訓練の様子を撮影した動画を提示することで、新規利用者の紹介促進を図る。 ・令和5年度に福祉センター廃止後デイサービスセンターの事業を安定して行うため、令和3年度にデイサービス用に設置した新規のボイラーと既存のボイラー、既存の貯湯タンク2つを使用し、床暖房の継続利用とデイサービスセンターの冬場の湯量不足を解決するための工事設計を依頼しており、工事は令和6年度を予定している。					
二次評価(公共施設活用等検討委員会での総括意見)							
・仕様書及び協定書のとおり適切に管理運営されている。 ・市民の利用割合が高く、地元から必要とされている施設となっている。今後も、利用者ニーズを把握しつつ、利用者サービスの向上に努めていただきたい。 ・利用促進による収入の増加や経費削減が図られたことにより、収支も増加している。引き続き、経費削減を図る中で、安定的な事業運営を行っていただきたい。 ・施設の老朽化している部分の維持管理や活用方法について検討し、適切な対応を行っていただきたい。							